

「The New Times」（英字日刊紙）の主要報道

2010年9月

在ルワンダ大使館

（１）内政

ア ミレニアム開発目標（MDGs）アフリカ諮問フォーラムの開催：５日，大統領宣誓式に先立ち，カガメ大統領はMDGsアフリカ諮問フォーラムを開催し，アフリカ各国首脳や国連・国際機関代表者が参加した。月末の国連総会でアフリカ諸国のプレゼンスを高めようと，意見交換が行われた。

イ 大統領宣誓式・内閣組閣：６日，８月の選挙で再選したカガメ大統領の宣誓式があり，アフリカ各国の国家元首１４名や政府関係者，一般観衆も含め約３万５千名がキガリ市内のスタジアムに集った。また，１３日，同大統領は，マクザ首相の再任をし，直後に現行内閣を維持する旨発表した。

（２）経済

ア 新規インフラ整備：政府は，全国で全長２３００キロの光ケーブルの敷設工事を進めているが，そのうち約半分にあたる１３８０キロの工事が完了したと発表した。また，キガリ市は市内の街路灯（総距離約６４キロ）の新設及び整備に約５０億ルワンダフラン（RWF）（１米ドル＝約５８０RWF）を拠出することを明らかにした。先月決定した市内道路３４キロの追加舗装化は，１５日に開始式が行われ，式典にはカレガ・インフラ大臣が出席した。同プロジェクトには１２０億RWFが投入される見通しである。

イ 非公式貿易の増加：ルワンダ国立銀行（BNR）は，同国の非公式貿易額が約４００億RWFであるという調査報告書を発表した。輸出額，輸入額はそれぞれ２７６億RWF，１２３億RWFである。調査は昨年５月から今年４月にかけて５３か所の国境口（非公式国境口も含む）で行われた。非公式貿易全体の６割強はコンゴ（民）が占め，次いでブルンジ，ルワンダである。主な貿易品目は，農産物や家畜である。ンサンザバガンワ貿易・産業大臣は，今後非公式貿易を公式貿易に移行させていきたい旨述べた。

ウ 観光産業の成長：政府は，２７日の世界環境デーの折に触れ，同国の上半期の観光産業は８７．３百万ドルの売り上げがあり，昨年度の８０．１百万ドルに比べ

9%の伸びを記録していることを明らかにした。ルイガンバ・ルワンダ開発庁観光保全部長によると、伝統文化の他に、バードウォッチングや自然散策を中心に観光産業に発展させたい由。ルワンダ航空搭乗者数も昨年に比べ86%の伸びを記録している。

（３）外交・安全保障

ア 国連人権高等弁務官報告書（案）とルワンダ国防軍（RDF）のダルフルからの撤退の可能性：8月末、ルワンダ政府は、国連平和維持活動（PKO）に派遣されているRDFに対し待機命令を発し、もし国連人権高等弁務官報告書が発表された場合には撤退を指示する考えを明らかにした。これに対し、7日、潘基文国連事務総長がルワンダを訪問し、カガメ大統領及び政府関係者と会談し、同報告書等につき協議した。一方で、23日、ダルフルから帰還した100名のRDF兵士に代わり同数の兵士がキガリからダルフルに発ち、通常どおり定期的な派遣軍の交代が行われた。

イ フランス・ルワンダ関係：11日、ブリュギエル元大審裁判所副裁判長によるハビヤリマナ元大統領を殺害した飛行機墜落事件の背景調査のため、フランスの独立調査団（3名）が到着した。カルガラマ法務大臣は、調査団が公平で透明性を確保した調査が実施できるように支援したいと述べ、航空機墜落事件のルワンダ政府の資料を調査団に手交した。また同大臣は、今回の調査は実際にルワンダを訪れて行ったものであり、大きな進歩であると述べた。同調査団によれば、最終報告書は来年の3月に発表される見通しである。また、28日、西部県カロンギ郡とフランスのデュルフィ区は、二つの地方の協力関係強化のための協定を結んだ。一方で、15日、フランス司法当局はジェノサイド容疑者のルワムチョ氏を解放する決定をし、これに対しゴガ検事総長が非難を行った。また、23日にオスロで死去した、ハビヤリマナ元大統領の死に関する証人がフランス人判事に提供した証言が、同氏の死後にフランスの雑誌に出版され、カルガラマ司法長官は大きな懸念を表明した。

ウ カガメ大統領のミレニアム開発目標（MDGs）サミットへの参加：ニューヨークで開催されたMDGsサミットにおいて、ルワンダはMDGs達成のために大きく飛躍した国として賞賛された。ルワンゴムブワ財務大臣は、同サミットにおいてルワンダが殆ど全ての面においてMDGsの達成状況の好例として他の発展途上国の参考にされたことを紹介し、ルワンダは2015年までに問題なくMDGsの達成を成し遂げるだろうと楽観的な見方を示した。

エ ジェノサイド容疑者の訴追に関する国際協力：27日、1994年のジェノサ

イド容疑者ンタチョバタバラ氏が、オランダの裁判所で訴追にかけられた。本件についてカルガラマ司法大臣は、オランダ、スウェーデン、フィンランド、ドイツなどのヨーロッパ諸国とルワンダのジェノサイド容疑者逮捕に関する司法協力の進展を歓迎する旨述べた。

オ EU・ルワンダ関係：28日、ミシェル・ベルギー国際協力大臣とEUの開発弁務官が3日間の日程で、対ルワンダ援助のMDGs達成への効果を測ることを目的にルワンダを訪問した。ルワンダに対する援助の効果的な実現と汚職に対する非寛容について賞賛した。援助プロジェクト等の視察の後、同大臣は「ルワンダの汚職との戦いと、開発における進歩とイニシアティブに印象づけられた。また、平和と安全は開発のための条件であり、ルワンダはこれらの点において高く評価できる」と述べた。

(注)「ルワンダ月報」は、ルワンダの英字日刊紙「The New Times」の報道を当館限りでまとめたものです。記事の中の客観事実は、日本政府やルワンダ政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。